

## 1 センターの数学について

数ⅠAの平均点は65~70点、数ⅡBの平均点は50点前後です。専門学校を受験する生徒も受けています。国公立を受けるなら数ⅠAは85点、数ⅡBなら75点欲しいです。センター試験レベルの問題であれば、現役生と浪人生の差は文系科目ほど理系では現れません。現役生と浪人生の得点の差は10点ぐらいでしょう。

九大以上を狙うなら90点以上は欲しいです。そのためには、ほとんど満点を取れる実力をつけなければなりません。

どうすればそんな力がつけられるでしょうか。

学校では、2年生の3月までに数ⅠA・数ⅡBの授業は終わっているはずですが。

まずは分野別、難易度別に分類された問題集をじっくりすることです。

塾では、「白チャート」を分野別に分類して、55項目のステップアップテスト形式にしています。二次試験で数学の必要な人は、その対策も兼ねて「黄チャート」をしても良いでしょう。

夏休みまでにしっかり全分野の例題を覚えます。数学の苦手な人でも全てのパターンを覚えれば自信がきます。試験でそれらのどのパターンで解いたら良いかが分かるようにならないとダメです。

全分野をマスターした後は、ひたすら練習するだけです。

3月から1月のセンター試験まで10カ月しかありません。

後は解く時間との戦いだけになります。60分の試験ですが50分で解けるように訓練しましょう。

## 2 二次試験について

小倉・明治学園・照曜館高校を除いて、戸畑・西・南・東高校は12月までセンター試験の対策を中心に勉強します。センター試験が終わってから二次試験まで40日しかありません。その間に私立大学を受験したりすれば更に勉強する時間がなくなります。

数学の力を養うには、センター試験のような誘導形式の箱埋め問題、出題形式や範囲が限られている問題をしては本当の実力はつきません。

問題を解きながら、分からないことを考える思考訓練、糸口を探す直観力の訓練をします。

この練習は一人ではなかなかできません。

基礎ができていないうちに二次試験問題を解くと、全く歯が立たなくて自信をなくします。

過去問題の答えを見ながらやっても力はつきません。

初めは、問題の取り組み方、指針など解答までの過程を優秀な指導者に教えてもらい、解答に到達するように指導してもらいます。だんだん一人でその要領が分かってきます。

そうなれば、後はたくさん問題を解くだけです。出題者の意図が分かってきます。

その他の物理、化学は日頃の学校の授業をいかに大切にするかです。文系科目ほど現役生と浪人生の差は出ません。早くから二次試験の問題を解けるようにしておきましょう。記述試験が多いので、教科書・参考書をしっかり読み込み、自分のノートを作ることです。